

第25回人間サイズのまちづくり賞 受賞者概要

奨励賞

- まちなみ建築部門

学校法人 松泉館 (神戸市灘区)

なでしこ芸術文化センター (神戸市西区)

香美町小代地域局・小代区総合センター (香美町)

一宮市民共同センター「いちのぴあ」 (宍粟市)

- まちづくり活動部門

福浦ふっくらCottonボランティア (赤穂市)

チームSKH(神戸市立真陽小学校放送委員会と関西大学近藤誠司研究室) (神戸市長田区)

里地区まちづくり協議会 (加古川市)

- 花緑部門

宿南 安枝 (養父市)

レスタージュ芦屋グリーンクラブ (芦屋市)



▲園児たちが日々過ごす環境の中に歴史的建造物がある



▲100年前の雰囲気は残しつつ新しいデザインも取り入れた改修

事業主 学校法人松泉館
設計者 長尾健建築研究所
施工者 株式会社林田工務店

施設概要

- 灘の造り酒屋の邸宅として大正10年に建てられ、ほぼ当時のまま現在に残る和風建築の再生事例
- 単に復元するのではなく、大工、左官、その他それぞれが今できる最善の技術を用い新しい価値を加え、次の時代に今の技術を残し伝える建築
- 大人の習い事や小学生の放課後活動など地域利用に供するとともに、幼稚園内に歴史ある建物や庭園を残すことにより、豊かな学びの環境を提供



▲放課後、蔵に集まる卒園児たち



▲2階サンルームの様子

なでしこ芸術文化センター (神戸市西区)



▲駅前ランドマークとなる神戸らしい外観



▲舞台が開放され、広場・多目的スペースと一体となるホール

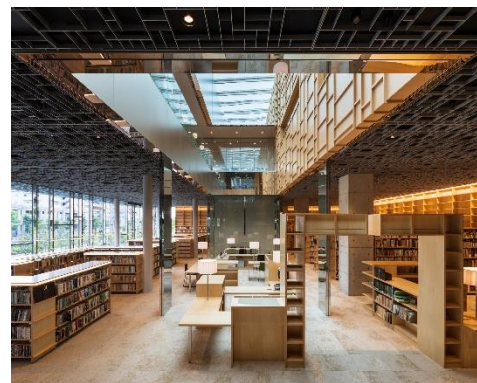
事業主 神戸市
設計者 株式会社久米設計
施工者 鹿島建設株式会社

施設概要

- 神戸らしいシンボリックな外観と、交流モールによりホールと図書館が融合した複合文化施設
- ガラス張りのスタジオや、後壁を解放し広場と一体的利用できる舞台など、まちに開かれたホール
- 全館で利用可能な図書館の本や、交流モールに設置されたアートウォール（壁面書架・展示棚）が知と芸術をつなげ、新たな創造と出会いを創出



▲知と芸術を融合する交流モール



▲全館で本の利用が可能な図書館

香美町小代地域局・小代区総合センター (香美町)



▲木質外装材、漆喰等の住宅が多い小代地域の景観と調和した外観



▲木の香りが漂う、温もりのある大会議室「久保井講堂」

事業主 香美町
設計者 東1級建築設計事務所
施工者 中川・西村特別共同企業体

施設概要

- 町役場の地域局、コミュニティ活動の拠点となる総合センターからなる複合公共施設
- 外観の配色や木製格子の採用など地域景観に配慮し、木材を内外装にふんだんに用いることで地域住民に親しまれる空間を創出
- 各階のロビーや玄関横テラスを地域へ開放し、地域交流の場として提供



▲内外部にふんだんに木材を使用 ▲親しみ感のある受付窓口

一宮市民協働センター「いちのぴあ」(宍粟市)



▲趣の異なる、木とコンクリートの調和・融合が図られた外観



▲エントランスホール天井に設置した宍粟杉による格子細工

事業主 宍粟市

設計者 共同設計株式会社

株式会社山田憲明構造設計事務所

施工者 ハマダ・宮藤特定建設工事共同企業体

施設概要

- 建物の各所で木が見えて触れることができるようデザインされた、ホール、遊戯室、図書室、行政窓口などの機能を有する複合施設
- 建物の構造には、宍粟材の魅力を最大限活かすことの出来る一般流通材を用いた在来工法を採用
- 木のあたたかさでコンクリートの凛とした魅力を調和・融合させ、市民が利用しやすい空間を創出



▲木造ハーフアーチ構造を採用



▲目届きのよい行政窓口

福浦ふっくらCottonボランティア (赤穂市)



▲地元住民と一体となって綿の種まきを実施



▲高齢者の見守りを兼ねた活動



▲他団体とも協力し登山道を整備



▲JR赤穂線の乗降客数増加を目指し、駅構内で作品展を実施

代表者 奥道 一二美

活動概要

- 「赤穂緞通」の糸の原料である綿作りを通じて、放棄田の解消や地域住民の参加、特に高齢者の生きがいつくりや見守り活動に寄与
- JR備前福河駅を利用した展覧会や綿に関する講演会などで交流を図り、JR赤穂線の利用促進をPR
- 赤穂コールドロンの痕跡であるビシャゴ岩を観光資源に生かすため、ビシャゴ会と連携し、登山道の整備・管理を行うなど、地域活性化に尽力



▲アニメ等子供にもわかりやすい題材で、防災について生放送



▲児童と大学生による放送内容の打合せ

代表者 近藤 誠司

活動概要

- 大学の研究室と協力し、児童が校内放送で防災について楽しく学ぶことができる防災学習プロジェクトを10年にわたり実施
- 防災教育にかかる教員の負担を抑え、地域の方も巻き込んだ防災教育の場を創出し、成果を地域へ発信
- 校内防災放送を聞いていた卒業生の多くは、防災への関心を持ち続けるなど、地域の防災まちづくりに寄与



▲街なか防災探検の様子



▲学んできた成果を保護者と共有

里地区まちづくり協議会 (加古川市)



▲防災マップ・防災マニュアルを作成



▲地域で消火訓練を実施



▲地区まちづくり計画策定の様子



▲里山の景観保全のため植栽を実施

代表者 前川 忠範

活動概要

- 里山や地域の資源を活用し、新旧の住民が一体となってコミュニティの維持を図っていく持続可能なまちづくりを推進
- 災害に強いまちづくりを目指して、住民全体で防災活動に取り組み、激甚化する大規模水害への対策として、防災マニュアルを作成
- 里山等の清掃活動や植樹などにより、地域の魅力ある資源を維持するとともに、住民の交流の場を創出

宿南 安枝 (養父市)



▲道の駅での作品展



▲やぶ市民交流広場YBファブでの花壇整備の様子



▲整備後の花壇



▲講習会の様子

活動概要

- 20年以上前に緑化活動団体を立ち上げ、花緑を通して人と人が交流できる場を創出し、後進の育成にも尽力
- 建物、花壇と植物が調和するようなデザインを考え、養父市の市民交流広場（YBファブ）の花壇を整備
- 花緑講座や小学校の課外講座を実施し、地域での花緑の普及活動に貢献

レスタージュ芦屋グリーンクラブ (芦屋市)



▲近隣の中学校、マンションでタテニワ講習会を実施



▲毎日クラブのメンバーが交代で維持管理を実施する公園

代表者 塩谷 智恵子

活動概要

- 殺風景だった公園に枝垂れ桜を植え「桜の公園」と呼ばれる地域の憩いの場をつくとともに、季節の花を鑑賞できる花壇を整備・管理
- 箱を積み上げ垂直方向に植栽した「タテニワ」を道沿いに展示し、通学児等が花や果実を楽しめる交流の場を創出
- 近隣の学校やマンションでタテニワの講習会を実施し、地域での花緑の普及活動に貢献



▲通園路に設置したタテニワ



▲オープンガーデンの様子